

様式第4号（第11項関係）

審議会等の名称	平成30年度第2回青少年問題協議会
開催日時	平成30年11月5日（月） 午後2時00分～3時30分
開催場所	勤労福祉センター2階ホール
出席委員の氏名又は人数	片山象三会長、勝岡昭太郎委員、多田万里子委員、笹倉邦好副会長、内橋和彦委員、藤原小織委員、地道秀明委員、古家幹也委員、和田拓也委員、村上慶光委員、大久保恵司委員、飛田和平委員、高瀬孝雄委員、大橋正子委員、西山重紀委員、村上佳也委員、金川幸裕委員、岩本幸久専門委員、柳川浩一幹事、山本友之幹事、飛田良平幹事
欠席委員の氏名又は人数	内藤兵衛委員、野崎英樹委員、真鍋宣征委員、河原淳専門委員、北川善理専門委員
出席職員の職・氏名又は人数	教育部長 森脇達也、こども福祉課長 岸本雅彦、学校教育課主幹 松本亨、青少年センター主査兼所長 小林賢也
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	1 開会 2 挨拶 3 報告 4 協議 5 閉会
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
幹事	<p>本日は大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から平成30年度第2回西脇市青少年問題協議会を開会いたします。最初に市民憲章の朗唱を行います。皆様ご起立の上ご唱和をお願いいたします。</p> <p><b>【市民憲章朗唱】</b></p>
幹事	<p>続きまして、本協議会会長の片山市長からご挨拶をいただきます。</p>

<p>会長</p>	<p>本年度第2回目の本会議にご出席いただきありがとうございます。この度、西脇警察署が交通安全教育技能ブロック大会において最優秀賞に選ばれました。11月28日に県大会に出場されますので良い成績を納められることを期待しています。最近では西脇市にとってうれしい話が多くあります。昨日の駅伝で西脇工業高等学校の男子が優勝し、全国大会に出場します。女子は2位だったので、近畿大会に出場し全国を目指します。また、黒田庄出身の甲斐野さんがプロ野球のドラフト会議でソフトバンクホークスに1位指名されています。それ以前は藤原崇太郎さんが柔道世界大会で2位になり、水泳ではジャカルタ・アジア大会において梶村尚さんが2位に入っています。この二人は芳田小学校の同級生ということで、12人で1クラスだった中から2人がオリンピック候補に選ばれています。このように若い力が出てきてくれることを誇りに感じています。この2人はご飯をたくさん食べているという話を聞いています。本日は食べることと家庭教育力についてが議題になっているので、忌憚のないご意見をお願いします。</p>
<p>幹事</p>	<p>ここからの進行は慣例により笹倉副会長にお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>それでは報告として西脇市における青少年問題の現状と課題として、各幹事から説明をお願いします。 ご質問、ご意見は各幹事の説明の後に一括して行います。初めに西脇警察署管内の少年非行の概況について西脇警察署の柳川幹事をお願いします。</p>
<p>幹事</p>	<p>少年非行の概要として平成30年9月末の暫定値を掲載しています。犯罪少年については16名、前年同期が4名だったので12名の増加です。内容としては窃盗が一番多く、続いて傷害ということになっています。続いて犯罪にはならない触法少年、14歳未満の少年については5名、前年同期が4名だったので1名の増加です。不良行為少年については65名、前年同期が123名で58名の減ということになっていますが、昨年は暴力団関係者等が少年を集め暴走行為を繰り返し、深夜徘徊</p>

	<p>徊が増えたためですが、昨年に検挙したため数字が減っています。不良行為少年の近隣署の状況についても西脇署と同等の数字となっており、西脇署が多いという感じはありません。しかし、この数が減ったとはいえ、この数は警察官が補導した数であり、警察官が発見しきれしていない深夜徘徊や喫煙を繰り返す少年はまだまだいると思われます。以上です。</p>
副会長	<p>続きまして、家庭児童相談の概況を岸本幹事からお願いします。</p>
幹事	<p>家庭児童相談の状況ですが、特に見ていただきたいのは虐待の相談が年々増加しており、平成30年度は半年間で前年度とほぼ同じ数字となっています。この数字については全くなくなるというよりも、細かく発見し、対応をしている成果があると思っています。母子父子自立支援相談については配偶者からの暴力なども含まれているのですが、若干の減少傾向です。しかし発見されていない事案があるのではないかと危惧しています。児童相談は133,000件と10年前の3倍以上増加し、県下でも虐待関係の相談は3,673件となっています。西脇市はその内の20数件と決して多い数字ではありませんが、深刻な問題を抱えている子どもがいるということで認識をお願いします。11月は児童虐待防止推進月間になっているので啓発活動に取り組めます。</p>
幹事	<p>ありがとうございます。今までの所で質問はありませんか。岩本委員どうぞ。</p>
委員	<p>こども福祉課の説明についてですが、「啓発している。」とありましたがどのような方法で周知をされていますか。</p>
幹事	<p>相談の機会をどのようにして設けるかが問題になります。子どもがおられる家庭は子ども手当のための現況届が提出されます。その機会を利用してアンケート等を行い、悩み事を伺う活動をしています。また11月のいきいきふれ愛まつりにおいても虐待防止のパンフレットを配布するなどの活動を行います。基本的には</p>

	<p>悩み事をどのようにキャッチしていくかが重要なのですが、相談の機会があっても、素直に話をしていただけない場合があります、後で発覚するようなこともありますので、気を付けながら聞き取りをしています。</p>
<p>委員</p>	<p>もう少し掘り下げて活動できるように、民生児童委員との関わりを持ち、取り組まれてはいかがかと思います。民生児童委員は高齢者には積極的な感じがありますが、青少年には手薄な感じがします。</p>
<p>幹事</p>	<p>手薄と申されましたが、決してそのようなことはございません。目に見えないところでの活動が多く、毎日10件ほどの報告が私の手元に届いています。生活に困られている方の家の掃除をしていただくなど、民生児童委員は地域に密着した活動に取り組んでいただいています。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者に対しては災害時などには真夜中でも出ていき、声掛け等の活動をされていますが、子どもに対しての活動が私には見えていなかったもので、このような質問をさせていただきました。</p>
<p>副会長</p>	<p>先ほど幹事からも説明がありましたが、いきいきふれ愛まつりの際にご参加いただき、情報の交換等をしていただければありがたいです。また、この会議では守秘義務もありますので、民生委員の細かな対応の話を大橋委員からお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私は民生児童委員で主に子どものことについて担当する主任児童委員として活動をしています。先ほどの掃除の件ですが、離婚をきっかけに母子家庭となられた家を掃除しました。初めは人間関係の構築から取り掛かり、時間をかけて掃除するところまでこぎつけ、母親にはごみの分別などの指導も行いました。長い年月をかけての活動となりますので、目には見えない活動となっています。</p>
<p>副会長</p>	<p>他にご質問ご意見はありませんか。なければ協議に移ります。前回の本協議会は地域教育力の低下をテー</p>

マに進めました。ポイントとして、あいさつ、コミュニケーション、地域の人間関係、子どもを集める手立て、親が朝から晩まで子どもを預けている実態、ネガティブな話が多いので、ワクワクするような話題を、といったご意見がありました。今回は家庭に話を移そうと思っています。その中で家庭の教育力はどのようにあればよいのか、協議会としてどのように支援をすればよいか、といったことを考えたいと思います。家庭の教育力と言っても、さまざまな考えや事例があると思います。そこで食べることに焦点を当てて、考えたいと思います。まず、朝食の重要性について、大橋委員ご意見をお願いします。

委員

先ほどの事例に挙げたような家庭では朝食がとられていません。私は朝食を食べて学校に行くことが当たり前と考えていました。また、家庭でもそうしてきましたが、いろいろ見させていただき、そうでない家庭もあり驚いています。経済的に困難で食べ物が買えない。また、近隣で買い物ができず、食べられていない家庭もあります。それではいけないので、週に一度買い物にお付き合いしています。しかし、食べ物さえあれば改善できるのかと思うと、そうでもありません。母親の料理をする力が不足しているのか、料理の指導することがあります。しかし、あまり伝わっていないようです。食べ物のことについて、考えているところですが、子どもがあまり食べていないと思われる家庭は環境や、アレルギーの問題もあり親が大変な目にあっていると感じています。

副会長

家庭に深く関わりをもっていていただいてもなかなか難しい問題であり、親の作る力が不足しているところにヒントがあったように思います。様々な理由でご飯を食べていない子を受け入れている古家校長からお話をお願いします。

委員

守秘義務がある中でお聞きください。本校でも朝ご飯を食べてきていない子どもはいます。空腹になると短気になり集中力が途切れ、精神的に不安定になる子もいます。・・・中略・・・母親も自分の生活を守る

	<p>ために一生懸命になっておられます。その中で、どこまで声掛けができるのか、福祉とも相談しているのですが、家庭に入っていくことは難しく、結論には至っておりません。</p>
副会長	<p>先日、青少年健全育成スクラム会議が行われましたが、この会議では様々な機関が集まり施策を練っています。しかし、今までの話を聞くと、末端では効果が薄まっているような気がしました。食べることの実態を把握していくので、次は昼食について中学校の和田校長からご意見をお願いします。</p>
委員	<p>昼食については給食があるので、それは子どもにとって大きいことと思います。先ほど小学校からも話がありましたが、中学校でも同じです。朝食を食べてきていない子にとって、給食の存在は大きく、そこで栄養を補っている子もいます。朝食を食べてきている子はいますが、何を食べてきているのか、誰と食べてきているのか、ということが重要かと思います。中学生の朝は忙しく、親も忙しいので一人で食べてきている子が多いと思います。一人ひとりが自分の時間で食べているので、そこでの会話が無くなっていると思います。食べることも重要ですが、どのように食べているか、ということも大事かと思います。</p>
副会長	<p>誰と、どのように、何を食べているか、ということですね。このことは今後の課題にしていきます。ところで、高等学校は食堂があるのですか。</p>
委員	<p>本校には食堂はあります。しかし、県立高校全般的に食堂の利用は減っており、小規模校などは業者が撤退をするケースもあります。本校でも食堂の利用は減っています。弁当を持参している子や、通学途中で買ってくる子もいます。食堂に関しては利用が減ってくると、営業利益を上げるために値上がりし、コンビニよりも若干高くなり、結果的に利用の低下につながっていると思います。</p>
副会長	<p>食事はとっているが形態が変化しているといったこ</p>

委員	<p>とですね。次に夕食について子ども会からのお話をお願いします。</p> <p>私の家では子どもと一緒に食事をしています。調査を見ると、ほとんどの家で朝食を取っているようですし、親とも食事をしているようですので、それほど暗い話ではないようです。しかし、出てくる話は暗い感じになっています。私は中学生の部活を引退したころから24歳頃まで、自分の意思で朝食を食べていませんでした。それでも、成長段階で困ったことはありませんでした。自分の意思で朝食を取らない子もいるのではないのでしょうか。</p>
副会長	<p>この会で話題になることは、生活や学校で問題があることに対し、どのように子どもを育てていくかを話題に持っていくと、どうしても暗い話題になってしまう傾向にあります。次は社会的なところで野外活動や施設での食事の状況を飛田委員からお願いします。</p>
委員	<p>青年の家を利用する子で最近気になるのはアレルギーの子が多いことです。しかし、アレルギー対応が複雑すぎて対応しきれず、施設では対応していません。個人的に食事を持参いただいています。食育については日本人にあった食生活に戻す運動をしないと生活習慣病などの引き金になり、このことを問題視しないといけないと思います。また、戦後の日本は農薬や化学肥料と、農業の機械化により多くの野菜が取れるようになりました。その化学肥料により様々な弊害が出ていると言われていています。また、農家の平均年齢が67歳といわれており、10年後が心配です。私も有機農業に取り組んでいますが収穫数が少なく、なかなかうまくいきません。今後、安全な野菜が出回るか心配です。食べることも大事ですが、何を食べるかということが大事かと思います。</p>
副会長	<p>アレルギー問題の話がありましたが、西脇市でも卵アレルギーに対応することができていません。エピペンでアナフィラキシーに対応しています。今までのご意見で、一部ではありますが、子どもが食べてこない</p>

	<p>、食が細いという話がありました。子どもがしっかりと食べる力を身に付けることが大事かと思えます。食べる力を身に付けさせるには、この協議会として次の提言のために、どのような意見を出さなければならぬか、大久保委員ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>食べるときに楽しくないといけないと思えます。楽しいということは食べ物おいしい。また、楽しく団らんを取ることが大事なかと思えます。しかし、昔のことを思い出すと「ご飯を食べるときに人と話をするな、早く食べろ。」と教えられてきました。その時代で考え方が変わってきているのですが、理想は誰と食べるか、何を食べるか、楽しく食べる、このようなことが大事なかと思えます。また、楽しく食べることで成長を促進させるのではないかと思えます。</p>
副会長	<p>「しゃべるな、早く食べろ。」という教えを経験されている方がこの中にもいると思えます。食べる力に話を絞っていきたいと思えます。多田委員ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>食育に対する考え方は先ほどの委員の考えとよく似ていて、楽しく食べるのが大事だと思えます。おにぎり一つでも、おいしいと感じながら食べる子と、なんとなく食べている子とでは違うと思えます。給食が楽しみだ、夕ご飯が楽しみだ、というように、食べることと、楽しみとを結びつけることが大事かと思えます。学校給食において、このようなことを教えてほしいと思えます。裕福で食べることに困っていない子もいれば、民生委員のお話にあったようなケースもあり極端になっている気がするので、このあたりの穴埋めがしていければいいと思っています。</p>
副会長	<p>楽しみになる食事を用意する手立て、という提言をいただきました。続いて高瀬委員ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>今回の協議事項について、ニュースでこのような記事を見つけました。朝食を食べない児童が 0.9ポイント</p>

	<p>ト増、親への食育が急務。政府は朝食を食べない児童の割合を0にすることを目指している。しかし、朝食を食べない児童は5.5%で、基本計画を作成した15年度と比べると1.1ポイント悪化しており、子どもの食生活の乱れが浮き彫りになっている。朝食を食べない理由に「食欲がない。」「時間がない。」「朝食が用意されていない。」とあり、「子どもの朝食の欠食は家庭環境も影響しているようだ。」と記載がありました。私が子育てをしているとき、子どもには朝食を食べろと言いながら、自分はコーヒーを一杯飲むだけで仕事に行っていたことを今になって反省しています。</p>
副会長	<p>文科省もこのような所に焦点を当てて調査をしているようですね。まず、食欲のわく食事が準備されていない事が問題かと思えます。男女共同参画の時代で、母親も忙しく、また、夜にも仕事があり、結果的に朝起きれず、子どもがほったらかしになっている、という話もありましたが、やはり、食べることを中心のテーマとしないといけないと思えます。このようなことから子育ての経験等のご意見を藤原委員からお願いします。</p>
委員	<p>働くお母さんが増えていて、そのお母さん方はどうしているか分かりませんが、仕事帰りの時間が夕食の時間になっていると思えます。そこで、いつ食事の支度をして、いつ食べさせているのか、どのしているのかと思えます。統計からみて食事を作らない家庭は少ないですが、その家庭について子ども食堂や、学校で朝食を食べる、といったことを見たことがあります。しかし、そのことを羨ましく思い、わざと朝食を食べずに学校に来る子がいる。とも言われていました。ということは、家で食べる楽しみはないということなのか、と考えてしまいました。</p>
副会長	<p>防犯協会の金川委員何かご意見はございませんか。</p>
委員	<p>食事と防犯についての関連はありませんが、町などの集まりの際に、食事のことについても注意を呼び掛けていくことが私たちにできることではないかと考え</p>

副会長	<p>ています。また、子ども食堂の話がありましたが、夜に食堂を利用する子どもが多いと報道で見たことがあります。また、朝食をとってきていない子に対し、学校で何か対応できないものかと思いました。</p> <p>西脇警察の地道署長何かご意見はございませんか。</p>
委員	<p>非行の前兆を察知するにあたり、家族で食事をとることは大切です。非行に走る前兆として、家族と食事をすることを嫌う傾向にあります。その他にも服装や化粧が変化したり、電話やSNSで成人とつながっていたり、帰宅時間が遅くなる。このことも食事の機会と関係してくると思います。言葉遣いが悪くなることもあります、また、小遣いが減り、家の金を持ち出すこともあるかと思います。その可能性を見極めるうえで食事は大切だと思います。食事をとおして非行の前兆をとらえることは可能だと思います。部活動などが忙しく、食事の機会は減ってくることもありますが、週末などに家族と一緒に食事をとることが大事かと思います。</p>
副会長	<p>食事を通じて非行の前兆を見極めるということで非常に勉強になりました。続いて補導委員の村上委員お願いします。</p>
委員	<p>給食で西脇市の食べ物を提供することで子どもたちが食に興味を持ち、そのことを家庭でも実践することで家庭でも食事をするようになるのではないかと思います。親もそのような努力が必要なのかと思います。</p>
副会長	<p>勝岡委員ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>孫の食が細いことが気になります。食事は親がしっかり作っているので栄養面では心配はないのですが、将来的に、身体の成長だけでなく、精神面でも大丈夫なのか心配になります。</p>
副会長	<p>岩本委員何かご意見はありませんか。</p>

委員	<p>食べることは生きていく上で基本です。しかし、現在は食べるものが豊富にあり無頓着になっているのではないかと思います。戦後は食べ物に困っていた時代ですが、今は食べることに対しての感謝が無いように思います。今までの話や、この協議会での意見を市民にどのように伝えていくか、その議論が大事かと思えます。</p>
副会長	<p>この委員会でのことを提言として学校に伝えたことはありますが、青少年の健全育成についての話し合いが多く、市民に伝えたことはありません。今回は食べることをテーマに、地域の教育力について議論しているので、市民に伝えることはできると思います。今後どのような形で市民に伝えるのか、取りとまとめたいと思います。最後に内橋委員お願いします。</p>
委員	<p>食事をとらない事の弊害は皆様が言われたとおりだと思います。しかし、食事をとらない理由として、朝が起きられない、とあります。これは規則正しい生活ができていないことだと思いました。しかし、家庭環境の話等もあり、単純な話ではないと感じています。西脇市として、食べていない子をゼロにしないといけないのではないかと思います。また、食べていない子の支援が大事かと思えます。正しい食生活は習慣づけと楽しい環境づくりではないかと思えます。</p>
副会長	<p>以前、非行に走った子に食事を食べさせ続けた女性の話をテレビで見たことがあります。その中で、食べているうちに心を開いき、今までのことを話したりした。というようなことでした。空腹は非行に走る、ということをその女性は感じていたようです。多田委員もこの話を見ておられたようですが、何かご意見はありませんか。</p>
委員	<p>すごい女性がいるものだと感動したのですが、つい先日も100円たこ焼きの話が報道でありましたが、お金を店主に渡すのではなく、箱の中に手ごと入れて渡す方法でした。こうすることにより、お金が無い子でも箱に手を入れただけでたこ焼きを食べることができ、</p>

<p>副会長</p> <p>委員</p> <p>副会長</p> <p>幹事</p> <p>会長</p> <p>幹事</p>	<p>空腹の子を救うことができるとありました。このように地道な活動をされている方が増えれば少しは状況が改善するのではないかと思います。</p> <p>最後にどなたかご意見はありませんか。岩本委員お願いします。</p> <p>食育の話はあくまでも家庭教育です。学校の先生も食事は家庭教育であるといったことを伝えてほしいと思います。社会教育、家庭教育、学校教育の三本柱が重要かと思いますが、家庭教育が低下しているので、レベルアップが大事だと思います。</p> <p>多くのご意見をありがとうございました。今回いただいたご意見の発信方法を工夫し提言とさせていただきたいと思います。</p> <p>副会長ありがとうございました。今回いただきましたご意見をまとめて次回の提案につなげたいと思います。最後に会長から挨拶をお願いします。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。私が就任してから関係各所と連携が取れ始めました。このことが成果となっています。すぐに結果の出ることではありませんし、見えない部分でもあるためご容赦をいただきたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p>。</p> <p>これを持ちまして第2回青少年問題協議会を終了いたします。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市青少年センター</p>

